Material For PRESS Release

国土交通省

黒部河川事務所

記者発表資料
令和　６年　９月１９日
配布：黒部市記者クラブ
扱い：配布後解禁

応急対策工事に着手！

～ 宇奈月ダム湖上流　尾ノ沼谷上流斜面土砂崩落箇所にて ～

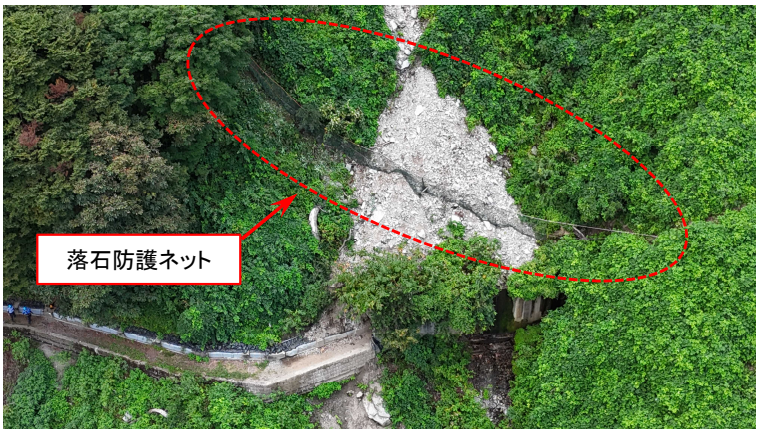
・令和６年２月中旬、宇奈月ダム湖上流約２ｋｍ左岸斜面にて土砂崩落が確認され、監視用カメラにて土砂崩落箇所の監視を続けてきましたが、６月２３日の大雨により再度土砂崩落が発生し、光ケーブル断線の恐れがあることから、今回、応急対策を実施します。
・９月２日から実施している落石に対する安全対策やアクセスルートの設置等の仮設工事が完了したため、９月１７日より光ケーブル断線防止対策等の応急対策に着手しました。

お問い合わせ先

国土交通省　北陸地方整備局　黒部河川事務所
□　副所長（技術）　大井　哲哉　　Tel：0765-52-1122（黒部河川事務所・代表）
□　ダム課長　　室井　勇人　　Tel：0765-62-9071（宇奈月ダム管理所）

アクセスルート整備状況

落石対策設置状況



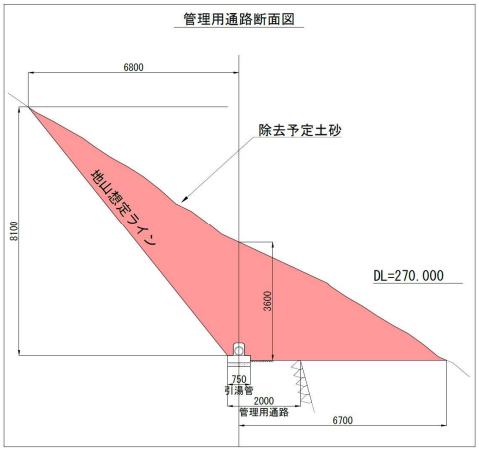
応急対策のイメージ

①光ケーブル断線防止対策

光ケーブルが沈下、断線しないように、下部の土砂流出箇所にINSEM材を敷き均し、締め固めを行います。

※INSEM材とは
砂防ソイルセメントとも呼ばれ、砂防の現場において、セメントと現地発生土砂と水を混合したもので、砂防施設構築や現地の地盤改良等に用いられる材料のことです。

②管理用通路土砂除去



現在、管理用通路を塞いでいる崩落土砂をバックホウにより、除去し、通行できるようにします。
なお、一部落石の危険性のある箇所においては遠隔操縦のバックホウを使用します。
土砂除去後、被災状況を確認し、必要に応じて補修を行います。
※土砂撤去範囲については概略であり、現地状況により変更となる場合があります。